

集落リーダーとの連携による獣害対策集落環境点検を実施

甲賀地域では 62 集落で被害があり、昨年 12 月までに 29 集落で集落環境点検を実施済みです。残りの被害集落に対しても点検活動と呼びかけているところですが、目標どおり進んでいないのが実状です。これは、谷地田や起伏が多い当地域の地形的特徴や、防護柵の設置が一定進んで被害が軽減し必要性を感じていない集落が増えたこと、さらには多くの住民が半日以上かかって点検する従来の手法は、集落にとって負担が大きいという課題がありました。

そこで、リーダー育成講座の修了者(集落リーダー)と連携し、H24 年度に県が実施した集落環境調査をもとに、2 時間を目途に現地巡回することとしました。この方法(以下「簡易点検」と呼称します。)で、1 月 24 日は湖南市妙感寺、1 月 29 日には土山町大澤において、両日とも集落(集落リーダー、役員等)と関係者あわせて 6 名で実施しました。

簡易点検の結果、すでに自主的に点検を行い、防護柵の補修、誘因物の除去組織的に適切な改善策が講じられていることを確認しました。

また、今回新たな課題となった事項は、GIS を使って作成したマップなどに整理し、集落リーダーを通じて住民へ呼びかけていただく予定です。



竹藪の整備状況を確認(妙感寺)

集落リーダーからは、「次の対策をどのように進めようか悩んでいたが、話を聞いてもらえてよかった」との感想や、「講座で学んだ防除技術をすぐに取り入れたことで柵の機能が向上し、被害が止まった」といった声も聞かれました。今回の簡易点検は、集落、関係者の負担が少ないことを実感でき、点検の必要性がないと言われていた集落でも、この方法であれば進めやすいことを確かめられました。

今後は簡易点検を基本に推進し、その結果、多くの住民を巻き込んでしっかりした点検を志向する集落が現われれば、従来の方法で対応するなど、現場のニーズに応じた柔軟な普及活動を展開していきたいと考えています。